



WITH

～認め合おう、知り合おう、医療と介護～



発刊日：平成 26 年 1 月

発行元：認知症疾患医療センター&認知症相談支援センター

協同で発行しています！

新しい1年のスタートですね。早いもので「認知症情報誌 WITH」も、2回目のお正月を迎えました。今年もさまざまな認知症に関する情報を発信していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、名古屋市では、昨年 10 月から「若年性認知症相談支援事業」を開始しているのはご存知でしょうか？認知症相談支援センター（千種区在宅サービスセンター内）が相談窓口となり、若年性認知症の方とその家族を支援しています。今回はその取り組みについて紹介させていただきます。



若年性認知症相談支援事業について

若年性認知症は、64 歳以下で発症する認知症のことで、アルツハイマー病や脳血管性認知症など、高齢者の認知症と原因疾患は変わりありません。しかし、発症年齢が若いことで、高齢者の認知症とは違ったさまざまな課題が生じます。

若年性認知症のご本人やご家族が直面する課題として、まず、初期の若年性認知症はうつ病などほかの病気との区別が難しく、診断や治療の開始が遅れてしまうといった医療面の課題があります。また、現役世代の発症で、仕事を休んだり退職することで生じる経済的な問題、配偶者・子どもなど家族への生活面・精神面での影響、ご本人の社会参加をどう継続していくかという課題などがあります。

認知症相談支援センターでは、若年性認知症相談支援担当者を置いて、ご本人・ご家族の気持ちに寄り添いながら、本当に必要としている制度やサービスにつなげることができるよう、医療機関やいきいき支援センターなどと連携しながら支援を行っています。

また、相談支援のほかに、市民向けリーフレットの発行（区役所や保健所、いきいき支援センター、認知症疾患医療センターなどで配布中）、月 1 回の若年性認知症本人・家族交流会の開催といった事業も行っています。

11 月に行われた第 2 回交流会では、ランチ交流会や紅葉の中の散策を行い、お孫さんも参加するなど、とてもにぎやかな会となりました。参加されたご本人からは「楽しかった！」、ご家族からは「普段話せないことを話すことができた」「情報交換ができてよかった」といった声が聞かれました。

今後もこういった事業を通して、若年性認知症の方やそのご家族の支援をさせていただきたいと思います。若年性認知症に関するご相談は、認知症相談支援センターまでお気軽にどうぞ！

名古屋市認知症相談支援センター

住所 名古屋市千種区西崎町二丁目 4 番地の 1(千種区在宅サービスセンター内)

電話 (052)763-1552 FAX (052)763-1547



認知症コラム NO.3

～家族として考える「認知症」～

まつかげシニアホスピタル院長 小川 周二

認知症の中でも割合の高いアルツハイマー型認知症やレビー小体型認知症はその発症からの進行が比較的遅いことが多く、そのことで家族にも特有の負担が生じてしまう場合があります。患者さん本人の様子に変化が現れ始めても、そのための介護負担が長期にわたって少しずつ増えていくため認知症なら仕方ないとはじめから諦めてしまったり、まだやれるからと無理を重ねたりしていつの間にか大きな負担を抱え込んでしまい、パンク寸前になって受診されるケースにしばしば遭遇します。

他人に家族のお世話をお願いすることへの申し訳なさや、罪責感からどうしても患者さんの介護をがんばりすぎてしまう家族がおられるようです。この情報誌のようなさまざまな情報を手に入れることや、同じ悩みを持つご家族と知り合うこと、様々な制度や社会資源を活用してまず介護する側が負担を一人で抱え込まないよう意識的に心がけることが大切でしょう。介護する側に気持ちのゆとりができることで当事者と感情的に衝突することも少なくなりお互いが穏やかに過ごせるようになります。認知症の方はご家族との衝突のエピソードは忘れてしまわれても、感情のしこりは後を引くケースが多いため、なおさら心がけたい点です。

認知症を早期に診断し治療に結びつけると同時に介護環境も考えていくことが家族の心の負担という観点から重要となりますが、早期に発見された場合には治療効果が表れ易いタイプの「認知症状態」の疾患を見逃さないという意味からも認知症が疑わしい場合には早めの受診が望まれます。

問合せ先及び認知症に関する相談窓口

認知症コールセンター

認知症の症状や介護等に関する様々な相談

◆認知症コールセンター ☎052-763-1332

認知症疾患医療センター

専門医療、鑑別診断と治療、急性期対応等に関する相談

◆名鉄病院 ☎052-551-2802

◆まつかげシニアホスピタル ☎052-352-4165

◆守山荘病院 ☎052-795-3560



認知症関係の行事予定

◆1月27日(月) 13時～15時30分 「市民向け講演会」

～音楽療法の体験・介護体験者の講演など～

場所：昭和区役所 2階講堂

内容：・音楽療法の体験 ・はいかい高齢者おかえり支援事業の紹介 ・介護体験者小菅もと子氏の講演「忘れてもしあわせ」 ・認知症相談(いきいき支援センター職員)

問合せ先：昭和区西部いきいき支援センター

Tel052-884-5513

◆1月30日(木) 10時～15時30分 「認知症ってなあに？」

場所：緑文化小劇場

ヒルズウォーク徳重ガーデンズ

内容：国立長寿医療研究センター 島田裕之先生による認知症予防の講演や認知症サポーターによる劇団の寸劇、脳年齢チェックや回想法体験など、楽しみながら認知症を理解できるイベント。

医師/歯科医師による個別相談あり。

問合せ先：緑区役所/同徳重支所

Tel052-625-3957/875-2207

◆2月1日(土) 13時～16時30分 「区認知症講演会 認知症ってどんな病気？」 ～治療と予防を考える～

場所：熱田区役所 7階 講堂

内容：・梅垣宏行先生(名古屋大学医学部付属病院老年内科)の講演 横川珠姫先生(健康運動指導士)の体操 ・認知症相談コーナー ・成年後見相談コーナー ・脳年齢チェックコーナー

申込：事前申込必要(参加者多数の場合抽選)

問合せ先：熱田区いきいき支援センター

Tel052-671-3195

◆2月27日(木) 13時30分～15時30分 「名東区認知症市民講演会」

場所：名東文化小劇場

内容：・音楽療法(金城学院大学 渡辺恭子教授はじめ同大学中西理緒さん、柳田恵理さん、山口茉莉子さん) ・講演会(守山荘病院岩井清院長「認知症の早期診断と治療、療養のサポート～認知症疾患医療センターの役割～」

問合せ先：名東区役所

Tel052-778-3009

◆3月1日(土) 11時～16時30分 「認知症を考えるフェア」

場所：東区役所・東保健所

内容：・寸劇「ごはんまだかね編」ほか・講演(「認知症の予防と回想法」来島修志氏)・医師/薬剤師/歯科医師の医療相談と認知症チェックコーナー・「グループ回想法」の体験講座 なつかしの歌声広場(佐溝章代氏)・介護用品紹介と情報コーナー ほか

問合せ先：東区いきいき支援センター

Tel052-932-8236

